★ キ ラ リ 治 日 ★ 発行:学校長 吉池光則

6月号 R3.6.16

渦中の運動会の形 「連学年体育発表会」で輝く子ども

マスクをして校庭に整列をしている児童。夢なのか現実なのか。マスクを外しましょうと指 示を出しても、意志を持って外さない児童もいました。短距離走ではマスク姿で本部前を駆け 抜けた児童もいました。十分な酸素を取り入れずに走る姿は、夢か幻か…。学校生活で一年以 上にもわたり、常に着けていたマスクを外すことに不安を感じている児童もいるのです。保護 者の皆様には、このような長期にわたるコロナ禍にあっても、挫けずに、精一杯頑張った子ど もたちに温かな拍手での応援をいただきましたことに感謝申し上げます。

※分散開催に伴う入れ替え時の混雑等でご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。







熱を帯びた行事が終わりました。マスク生活での熱中症対策のために、早くも教室では冷房機器 を稼働させています。外気温が高い登下校時はマスクの着脱についての声掛けをお願いします。

…6/24 プール開き。 今年は「水泳学習」を行います。 …感染防止対策のいくつか…

- ・着替え場所を分散。「教室」「児童会室」「会議室」等を用い、互いの間隔をとって着替える。
- ・ゴーグル等の個人の道具の貸し借りはしません。
- ・プールサイドを広く使い、間隔をとって整列します。
- ・シャワーには一斉に入りません。間隔を取り、数人単位で浴びます。
- ・準備体操も含め、発声は控えます。
- ・泳ぐ時はコースを限定したり、一方通行にしたり、プール内の人数を制限し、接触を避けます。
- ・ビート板など、共有の用具を使用した場合は、適宜消毒をします。
- ・プールトイレ使用後は念入りに手洗いをさせ・消毒をします。
- ・教員はフェイスシールドを着用して指導します。 など
- ■地域の感染状況等を踏まえて、水泳学習を休止、あるいは中止することもあります。

治田小学校 開校 50周年。50歳おめでとう **○○** 50年ありがとう。 50周年にちなみ 50年前のことを調べてみました。②

治田小学校が二つの学校の閉校、そして「統合」という形で誕生したことは校長講話でもお話しました。二つの学校とは桑原小学校(大田原分校も)と稲荷山小学校です。それらの学校の玄関には学校の看板(校名表札)が掲げられていました。現在、本校の職員玄関には関係した校名札が並べて掲げられています。



左から市町合併により「千曲市」になる前の「更埴市立」治田小学校の表札です。左から二つ目が「更埴市立」治田小学校「大田原分校」、左から三つ目が「更埴市立」治田小学校「桑原部校」、4つ目が「更埴市立」治田小学校「稲荷山部校」のものです。横長のものは「稲荷山学校」(明治期)のものです。「統合」が決まっても、直ぐに新しい学校の建物ができるわけではありませんので、しばらくそれぞれの学校の建物を使っていたのです。「形式統合」という言い方をしています。左から二、三、四本目の表札は、その時の表札ということになります。この部校時代の表札が掲げられてから 50 年が経ったということです。

女川談慶師匠をお招きした50周年記念講演会への期待



祝50、めでたい年ではありますが、コロナ禍での行事ということで、感染防止策に万全を期して、PTAの皆様との協働で実行し、子どもたちの愛校心、郷土愛を醸成していく責任を感じています。既にお手元に届けられた「人権参観日・50周年記念講演会について(ご案内)」の通り、連学年毎の分散形態、20分単位の短時間化を図った計画としています。なかよし旬間の趣旨をご理解いただき、一人一人の人格を尊重し、お互いによい参観日、講演会だったとなるように、開催へのご理解とご協力をお願いいたします。

※ 別紙「校舎配置図」をお配りします。校内参観の参考・行動記録用にお使いください。